



集落情報コーナー

< 第41回 西勝田東部自治会対抗運動会 6月10日(日) >

西勝田東部行政区による、自治会対抗運動会が岩代文化ホールでにぎやかに行われました。

前回まではソフトボールとバレーボールを行っていましたが、高齢化や参加人数の減少にともない、今回から新種目に変更しての運動会となりました。小さな子供から年配の方も含め、約120名の参加者がありました。新種目の内容は、フライングディスク、ビーンボウリング、ラダーゲッター、カローリング、輪投げの5種目でした。さらに、参加者全員による宝拾いと、幼児から小学生限定のパン食い競争も、一緒に盛り込まれていました。参加された皆様の真剣な眼差し、笑顔輝く瞬間、失敗してもお互いを励ます姿が大変印象的でした。

年齢を問わず、誰もが楽しみ、運動出来るように考え、話し合いを続けながら、区内の更なるコミュニティの充実、発展へとつなげる事は本当に素晴らしいと思います。今後も継続して欲しいです。



< 下長折行政区活性化事業 6月10日(日) >

同日、下長折行政区では、活性化事業の一環として区内(藤、諏訪、荒井)の3ヵ所に、花植えを行いました。いずれも、道路沿いの整備された所に、色彩豊かなベゴニア等が植えられています。参加者は、約60名。小雨が降る中で、手際よく作業を進め、参加者同士様々な会話をしながら交流されていました。花植えが終わったそれぞれの場所は、各地内の個性が溢れ出ています。

普段の生活の中では、身近に花があるだけで、少し心が癒されるのではないのでしょうか。是非、近くをお通りの際は、車を安全な場所に止めてご覧下さい。年々、少子高齢化が進む状況の中でも、地区の住人同士が顔を合わせ、交流する場があるという事が次世代への一歩につながるのではないのでしょうか。

< 藤地内 >

< 諏訪地内 >

< 荒井地内 >



ひと紹介

今回は田沢字中山地区に移住された方を紹介します！

- ・氏名：佐藤淑幸（さとうよしゆき）氏
- ・年齢：30歳代
- ・移住年月：平成29年5月
- ・前居住地：伊達郡川俣町
- ・家族構成：妻、子ども3人（9歳、8歳、5歳）
- ・職業：農業（花卉栽培）



佐藤さんは、長年会社員として働いてきましたが、会社員時代は、仕事優先で思うように休みが取れず、子どもが急病の際などは奥様の負担が大きかったといいます。

そんな時、義父のリンドウ栽培を手伝ったことがきっかけで、花卉栽培に興味を持ち、農業への転職を考えるようになりました。

また、奥様の実家がある田沢地区は、かつて農業が盛んでしたが、養蚕や葉タバコの衰退により、多くの農地が荒廃していることを知り、少しでも荒れた土地を減らしたいという思いが次第に強くなっていったそうです。

家族で相談し、昨年5月に田沢字中山地区に移住して小菊栽培を始めました。

佐藤さんは、「昨年は、初めての農作業に加え、天候が不順だったため試行錯誤の連続でしたが、家族の協力、JA職員の指導、田沢地区で数年前から小菊栽培を行っている先輩方のアドバイス等を受けながら、なんとか収穫にこぎつけることができました。地域の方々にも温かく迎えていただき、移住して良かったと思っています。農業は天候に左右され、難しい面もありますが、自分のペースで仕事を進めることができ、子どもと一緒に過ごす時間が増えたことは何よりの喜びです。今年は作付面積を15アールから40アールに拡大しました。繁忙期には地域の方々にも手伝っていただく予定で、雇用の場を増やすことにつながれば嬉しいです。」と目を輝かせながら話してくれました。今後も佐藤さんのような若い力が増えて、地域が元気になることを願っています。



ひまわりプロジェクト

合戦場のしだれ桜周辺整備事業の一環として、しだれ桜周辺の畑70アールにひまわりの種を蒔きました。それに合わせて、四季を通じての憩いの場として、国道459号を往来される方に花を楽しんでいただくために、住民の方々のご協力をいただき、合戦場しだれ桜広場にひまわりとざる菊の苗を植えました。



春は桜と菜の花、夏はひまわり、秋はざる菊と、地区の方々だけでなく、いろいろな方に訪れて頂き、花を楽しんでいただけたらと思います。

そして、この取り組みが、集客のきっかけになってくれればと思います。

皆さん！夏になったら一度訪れてみてはいかがでしょうか。